

市内経営動向調査

平成30年1月～3月期 (第4四半期)

- ① 調査の時期 平成30年4月 ② 調査の期間 平成30年1月～3月
③ 調査対象企業 280社 ④ 回収状況 150社 (回答率53.6%)
⑤ 調査内容 建設業、製造業、卸・小売業、サービス業を営む企業に対して、佐世保の景況感、
業界の景況感、前年同期比売上動向 (H29.1月～3月)、前年同期比採算動向
(H29.1月～3月)を調査

※DI=ディフュージョン・インデックスとは《「増加・好転の割合」－「減少・悪化の割合」》

【総括】

○全業種

全業種では、前年同期比売上動向、前年同期比採算動向においてDI値の改善がみられた。今回特にサービス業と建設業の改善が見られ、全業種の改善を牽引する動きとなった。前年同期比売上動向においては4期連続での回復の動きとなるなど、全ての調査項目において、駆け込み需要が生じた消費増税(8%)前の水準に迫る数値である。また、佐世保の景況感においては、前回調査に引き続き直近10年間の調査で最も高い数値を維持しており、回復基調が続いていることが窺える。

経営上の問題点としては、依然として人手不足や原材料費の高騰を問題とする声が多く寄せられていることから、企業の利益確保を課題とする姿勢も窺え、各社生産性の向上が求められる。他に事業承継を課題とする声も寄せられた。全国的には、上記と同様の問題に加え、米国の保護主義的な関税措置の影響など世界経済・貿易に対する先行き不透明感を懸念する声も多いようであり、先行きに慎重な見方が残る。

○佐世保市内の景況感

DI値は、サービス業において改善したものの、建設業、製造業、卸・小売業において悪化した。建設業では、▲20.0(前回は-3.4ポイント)と僅かに悪化したものの、DI値は他の業種と比較して変動が小さく安定した数値を維持している。前回直近10年間の調査で最も高い数値であった製造業では、▲13.8(前回は-4.2ポイント)と僅かに悪化したものの、依然として全業種の中で最も高い数値である。

○市内業界の景況感

DI値は、建設業、卸・小売業、サービス業において改善したものの、製造業において悪化した。製造業では、『悪い』と回答した企業が15.1%増加し、▲27.6(前回は-17.9ポイント)と大きく悪化に転じた。佐世保市内の景況感では高い数値を維持しているため、今後それぞれの数値動向に注視が必要である。他の業種と比較して低い数値が続く卸・小売業では、▲33.3(前回は+4.2ポイント)と僅かであるが6期連続で改善の動きが続いており、緩やかな回復基調にある。

○前年同期比の売上動向









































DI値は、建設業、サービス業において改善したものの、製造業、卸・小売業において悪化した。建設業では、『増加』『やや増加』と回答した企業が8.8%増加し、15.2(前回は+15.2ポイント)と4期連続で大きく改善。直近20年間の調査で最も高い数値となった。同じくサービス業では、『減少』『やや減少』と回答した企業が16.2%減少し、5.7(前回は+21.8ポイント)と大きく改善した。

○前年同期比の採算動向

DI値は、サービス業において改善したものの、建設業、製造業、卸・小売業において悪化した。依然として、人手不足の影響拡大による労務費の上昇や原材料費の高騰を指摘する声も寄せられた。全国的にもこれらに加え消費者の低価格志向やコスト増加分の価格転嫁の遅れを懸念する声が続いている。

①佐世保の景況感について				②市内業界の景況感				③昨年同期比の売上の動向は？				④昨年同期比の採算動向は？			
全業種 DI値 ▲ 20.5				全業種 DI値 ▲ 25.8				全業種 DI値 1.4				全業種 ▲ 8.5			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	9	5.96%	6.0	1.好転	3	1.97%	2.0
2.良い	10	6.62%	6.6	2.良い	8	5.30%	5.3	2.やや増加	36	23.84%	23.8	2.やや好転	33	21.71%	21.7
3.普通	100	66.23%	66.3	3.普通	96	63.58%	63.6	3.変わらない	63	41.72%	41.8	3.変わらない	67	44.08%	44.1
4.悪い	39	25.83%	25.8	4.悪い	45	29.80%	29.8	4.やや減少	28	18.54%	18.5	4.やや悪化	41	26.97%	27.0
5.大変悪い	2	1.32%	1.3	5.大変悪い	2	1.32%	1.3	5.減少	15	9.93%	9.9	5.悪化	8	5.26%	5.2
建設業 DI値 ▲ 20.0				建設業 DI値 ▲ 15.5				建設業 DI値 15.2				建設業 DI値 ▲ 2.1			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	6.52%	6.5	1.好転	1	2.17%	2.2
2.良い	1	2.22%	2.2	2.良い	3	6.67%	6.7	2.やや増加	12	26.09%	26.1	2.やや好転	8	17.39%	17.4
3.普通	34	75.56%	75.6	3.普通	32	71.11%	71.1	3.変わらない	23	50.00%	50.0	3.変わらない	27	58.70%	58.7
4.悪い	9	20.00%	20.0	4.悪い	9	20.00%	20.0	4.やや減少	4	8.70%	8.7	4.やや悪化	8	17.39%	17.4
5.大変悪い	1	2.22%	2.2	5.大変悪い	1	2.22%	2.2	5.減少	4	8.70%	8.7	5.悪化	2	4.35%	4.3
製造業 DI値 ▲ 13.8				製造業 DI値 ▲ 27.6				製造業 DI値 0.0				製造業 DI値 ▲ 6.9			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	3	10.34%	10.3	1.好転	2	6.90%	6.9
2.良い	4	13.79%	13.8	2.良い	2	6.90%	6.9	2.やや増加	7	24.14%	24.2	2.やや好転	7	24.14%	24.1
3.普通	17	58.62%	58.6	3.普通	17	58.62%	58.6	3.変わらない	9	31.03%	31.0	3.変わらない	9	31.03%	31.1
4.悪い	8	27.59%	27.6	4.悪い	10	34.48%	34.5	4.やや減少	5	17.24%	17.3	4.やや悪化	8	27.59%	27.6
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	5	17.24%	17.2	5.悪化	3	10.34%	10.3
卸・小売業 DI値 ▲ 28.5				卸・小売業 DI値 ▲ 33.3				卸・小売業 DI値 ▲ 17.1				卸・小売業 DI値 ▲ 23.9			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	2	4.88%	4.9	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	2	4.76%	4.8	2.良い	2	4.76%	4.8	2.やや増加	7	17.07%	17.1	2.やや好転	8	19.05%	19.0
3.普通	26	61.90%	61.9	3.普通	24	57.14%	57.1	3.変わらない	16	39.02%	38.9	3.変わらない	16	38.10%	38.1
4.悪い	13	30.95%	30.9	4.悪い	15	35.71%	35.7	4.やや減少	12	29.27%	29.3	4.やや悪化	16	38.10%	38.1
5.大変悪い	1	2.38%	2.4	5.大変悪い	1	2.38%	2.4	5.減少	4	9.76%	9.8	5.悪化	2	4.76%	4.8
サービス業 DI値 ▲ 17.1				サービス業 DI値 ▲ 28.5				サービス業 DI値 5.7				サービス業 DI値 0.0			
1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.大変良い	0	0.00%	0.0	1.増加	1	2.86%	2.8	1.好転	0	0.00%	0.0
2.良い	3	8.57%	8.6	2.良い	1	2.86%	2.9	2.やや増加	10	28.57%	28.6	2.やや好転	10	28.57%	28.6
3.普通	23	65.71%	65.7	3.普通	23	65.71%	65.7	3.変わらない	15	42.86%	42.9	3.変わらない	15	42.86%	42.8
4.悪い	9	25.71%	25.7	4.悪い	11	31.43%	31.4	4.やや減少	7	20.00%	20.0	4.やや悪化	9	25.71%	25.7
5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.大変悪い	0	0.00%	0.0	5.減少	2	5.71%	5.7	5.悪化	1	2.86%	2.9

市内経営動向調査 平成 29 年度第 4 四半期（平成 30 年 1 月～3 月）DI 景況感 ※DI 値は平成 29 年第 3 四半期（平成 29 年 10 月～12 月）と比較

	佐世保の景況感	業界の景況感	前年同期比売上げ動向	前年同期比採算動向
全業種	DI ▲20.3 ⇒ ▲20.5 ↘  ⇒  ↓	DI ▲23.7 ⇒ ▲25.8 ↘  ⇒  ↓	DI ▲3.4 ⇒ 1.4 ↘  ⇒  ↑	DI ▲10.1 ⇒ ▲8.5 ↘  ⇒  ↑
建設業	DI ▲16.6 ⇒ ▲20.0 ↗  ⇒  ↓	DI ▲16.6 ⇒ ▲15.5 ↘  ⇒  ↑	DI 0.0 ⇒ 15.2 ↗  ⇒  ↑	DI 0.0 ⇒ ▲2.1 ↗  ⇒  ↓
製造業	DI ▲9.6 ⇒ ▲13.8 ↗  ⇒  ↓	DI ▲9.7 ⇒ ▲27.6 ↗  ⇒  ↓	DI 19.4 ⇒ 0.0 ↘  ⇒  ↓	DI 16.2 ⇒ ▲6.9 ↘  ⇒  ↓
卸・小売業	DI ▲28.2 ⇒ ▲28.5 ↗  ⇒  ↓	DI ▲37.5 ⇒ ▲33.3 ↘  ⇒  ↑	DI ▲15.0 ⇒ ▲17.1 ↗  ⇒  ↓	DI ▲18.4 ⇒ ▲23.9 ↗  ⇒  ↓
サービス業	DI ▲25.8 ⇒ ▲17.1 ↘  ⇒  ↑	DI ▲29.1 ⇒ ▲28.5 ↘  ⇒  ↑	DI ▲16.1 ⇒ 5.7 ↘  ⇒  ↑	DI ▲38.7 ⇒ 0.0 ↘  ⇒  ↑



DI100～81



DI80～41



DI40～11



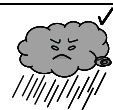
DI10～▲10



DI▲11～▲40

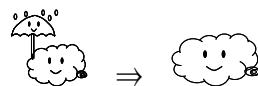


DI▲41～▲80



DI▲81～▲100

DI ▲30.0⇒▲10.0 ↘ (平成 21 年度第 1 四半期～平成 29 年度第 4 四半期の傾向)



↑ (平成 29 年度第 3 四半期と平成 29 年度第 4 四半期との比較)

【概 況】

(全業種) ※ () 内は前回調査値

① 市内の景況感について

「大変良い」0% (0%)、「良い」6.6% (3.5%)、「普通」66.3% (72.7%)、「悪い」25.8% (22.4%)、「大変悪い」1.3% (1.4%) となり、DIは▲20.5 (▲20.3) と0.2ポイント悪化した。業種別DIでは、サービス業でプラスに作用し、建設業、製造業、卸・小売業ではマイナスに作用した。

② 市内における業界の景気動向について

「大変良い」0% (0.7%)、「良い」5.3% (5.5%)、「普通」63.6% (63.9%)、「悪い」29.8% (28.5%)、「大変悪い」1.3% (1.4%) となり、DIは▲25.8 (▲23.7) と2.1ポイント悪化した。業種別DIでは、建設業、卸・小売業、サービス業でプラスに作用し、製造業ではマイナスに作用した。

③ 前年同期 (平成29年1月～3月) 比の売上動向について

「増加」6.0% (3.5%)、「やや増加」23.8% (22.2%)、「変わらない」41.8% (45.2%)、「やや減少」18.5% (19.4%)、「減少」9.9% (9.7%) となり、DIは1.4 (▲3.4) と4.8ポイント改善した。業種別DIでは、建設業、サービス業でプラスに作用し、製造業、卸・小売業ではマイナスに作用した。

④ 前年同期 (平成29年1月～3月) 比の採算動向について

「好転」2.0% (2.1%)、「やや好転」21.7% (15.7%)、「変わらない」44.1% (54.3%)、「やや悪化」27.0% (20.0%)、「悪化」5.2% (7.9%) となり、DIは▲8.5 (▲10.1) と1.6ポイント改善した。業種別DIでは、サービス業でプラスに作用し、建設業、製造業、卸・小売業ではマイナスに作用した。

《業種別概況》 ※（ ）内は前回調査値

(建設業) 回答：78社中46社、回答率59.0%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.2% (2.4%)、「普通」75.6% (78.6%)、「悪い」20.0% (19.0%)、「大変悪い」2.2% (0%) となり、DIは▲20.0 (▲16.6) と3.4ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」6.7% (4.8%)、「普通」71.1% (73.8%)、「悪い」20.0% (21.4%)、「大変悪い」2.2% (0%) となり、DIは▲15.5 (▲16.6) と1.1ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」6.5% (0%)、「やや増加」26.1% (23.8%)、「変わらない」50.0% (52.4%)、「やや減少」8.7% (11.9%)、「減少」8.7% (11.9%) となり、DIは15.2 (0) と15.2ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」2.2% (0%)、「やや好転」17.4% (12.5%)、「変わらない」58.7% (75.0%)、「やや悪化」17.4% (5.0%)、「悪化」4.3% (7.5%) となり、DIは▲2.1 (0) と2.1ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、公共工事を含む受注の増加や大型工事の受注、消費増税前の受注増などの回答があった。
悪化要因では、公共工事の減少や民間の設備投資減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や採算性の向上などの回答があった。
悪化要因では、受注の減少や利益率の低下などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足（若年者・技術者）や人材育成、職人不足による工期の遅れを問題視する声が寄せられた。

(製造業) 回答：64社中27社、回答率42.2%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」13.8% (6.5%)、「普通」58.6% (77.4%)、「悪い」27.6% (16.1%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲13.8 (▲9.6) と4.2ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (3.2%)、「良い」6.9% (6.5%)、「普通」58.6% (70.9%)、「悪い」34.5% (19.4%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲27.6 (▲9.7) と17.9ポイント悪化した。

○前年同期比の売上げは、「増加」10.3% (16.1%)、「やや増加」24.2% (19.4%)、「変わらない」31.0% (48.4%)、「やや減少」17.3% (12.9%)、「減少」17.2% (3.2%) となり、DIは0 (19.4) と19.4ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」6.9% (9.7%)、「やや好転」24.1% (22.6%)、「変わらない」31.1% (51.6%)、「やや悪化」27.6% (9.7%)、「悪化」10.3% (6.4%) となり、DIは▲6.9 (16.2) と23.1ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上動向

好転要因では、受注の増加や販売単価の上昇、県外への店舗出店などの回答があった。
悪化要因では、受注の減少や生産性の低下、原材料不足などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や生産性の向上、経費の見直しなどの回答があった。
悪化要因では、原材料の値上がりや外注費の増加、生産性の低下などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や原材料の高騰、後継者問題、資金繰りを問題視する声が寄せられた。

(卸・小売業) 回答：73社中42社、回答率57.5%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」4.8% (5.1%)、「普通」61.9% (61.6%)、「悪い」30.9% (28.2%)、「大変悪い」2.4% (5.1%) となり、DIは▲28.5 (▲28.2) と0.3ポイント悪化した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」4.8% (7.5%)、「普通」57.1% (47.5%)、「悪い」35.7% (40.0%)、「大変悪い」2.4% (5.0%) となり、DIは▲33.3 (▲37.5) と4.2ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」4.9% (0%)、「やや増加」17.1% (20.0%)、「変わらない」38.9% (45.0%)、「やや減少」29.3% (22.5%)、「減少」9.8% (12.5%) となり、DIは▲17.1 (▲15.0) と2.1ポイント悪化した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」19.0% (15.8%)、「変わらない」38.1% (50.0%)、「やや悪化」38.1% (26.3%)、「悪化」4.8% (7.9%) となり、DIは▲23.9 (▲18.4) と5.5ポイント悪化した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、営業の強化や商品値上げ、スポット受注の効果などの回答があった。

悪化要因では、インバウンドによる購入の減少や少子化、通行量の減少、天候の影響などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や経費の削減などの回答があった。

悪化要因では、売上減少や人件費の増加、価格競争の影響などの回答があった。

○経営上の問題

人材不足や事業承継、設備の老朽化、販売先減少、商品の品揃えを問題視する声が寄せられた。

(サービス業) 回答：65社中35社、回答率53.8%

○市内の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」8.6% (0%)、「普通」65.7% (74.2%)、「悪い」25.7% (25.8%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲17.1 (▲25.8) と8.7ポイント改善した。

○市内業界の景況感については、「大変良い」0% (0%)、「良い」2.9% (3.2%)、「普通」65.7% (64.5%)、「悪い」31.4% (32.3%)、「大変悪い」0% (0%) となり、DIは▲28.5 (▲29.1) と0.6ポイント改善した。

○前年同期比の売上げは、「増加」2.8% (0%)、「やや増加」28.6% (25.8%)、「変わらない」42.9% (32.3%)、「やや減少」20.0% (32.3%)、「減少」5.7% (9.6%) となり、DIは5.7 (▲16.1) と21.8ポイント改善した。

○前年同期比の採算動向は「好転」0% (0%)、「やや好転」28.6% (12.9%)、「変わらない」42.8% (35.5%)、「やや悪化」25.7% (41.9%)、「悪化」2.9% (9.7%) となり、DIは0 (▲38.7) と38.7ポイント改善した。

《主な自由意見》

○昨年同期の売上

好転要因では、団体利用の増加や天候の影響を受けなかったため、広告宣伝効果などの回答があった。
悪化要因では、観光客の減少や受注の減少などの回答があった。

○昨年同期の採算動向

好転要因では、売上増加や団体客の利用増加、会社組織・業務内容の見直しなどの回答があった。
悪化要因では、人件費や燃料費、食材等の高騰などの回答があった。

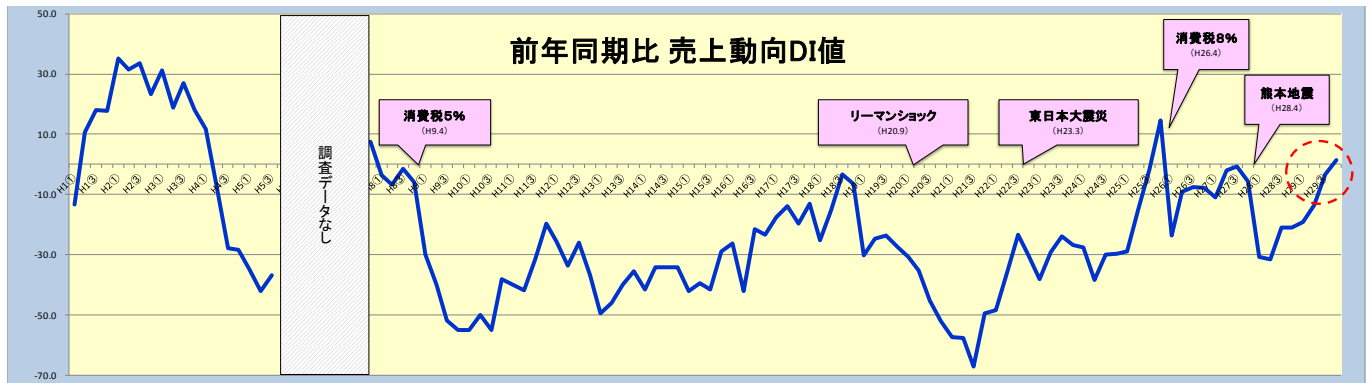
○経営上の問題

人材不足や施設の老朽化などを問題視する声が寄せられた

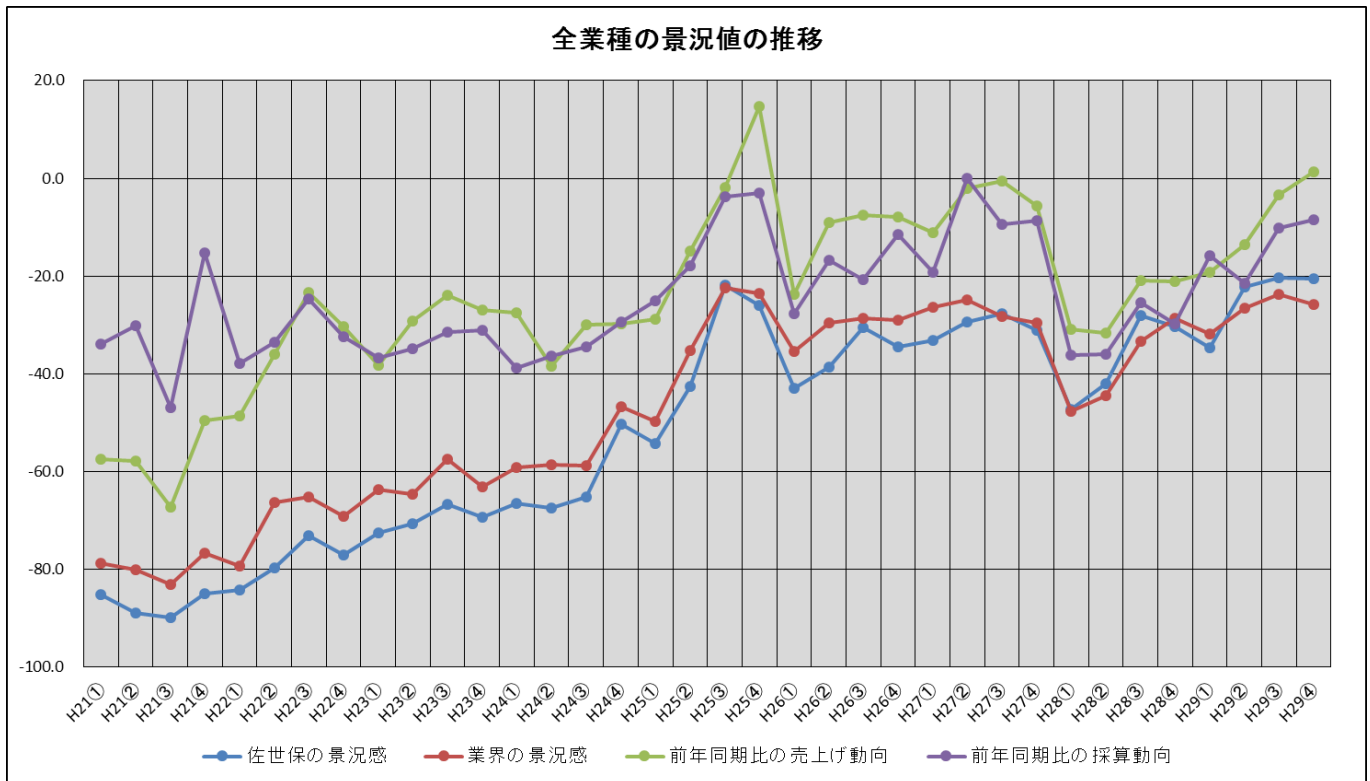
以上

平成 29 年度第 4 四半期 経営動向調査表

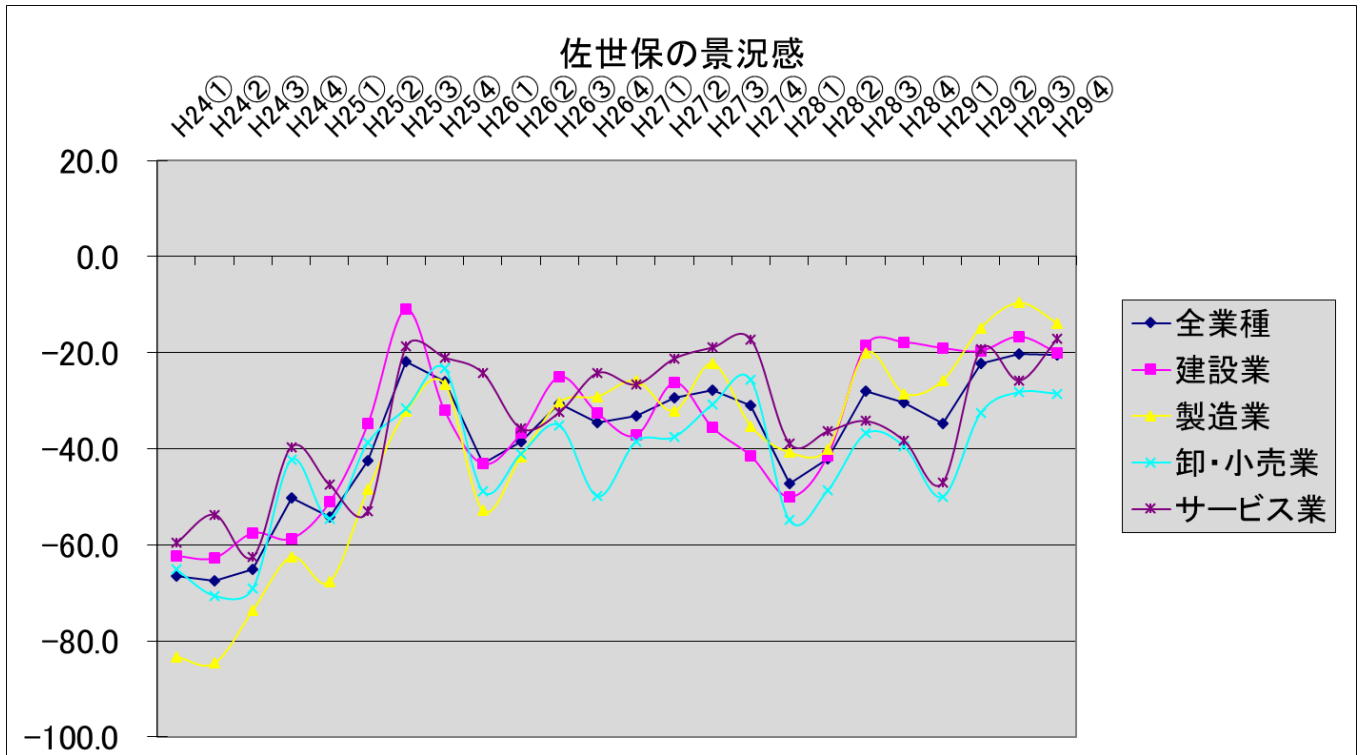
図表 1 - 1 【前年同期比売上動向DI値の推移（平成元年～）】



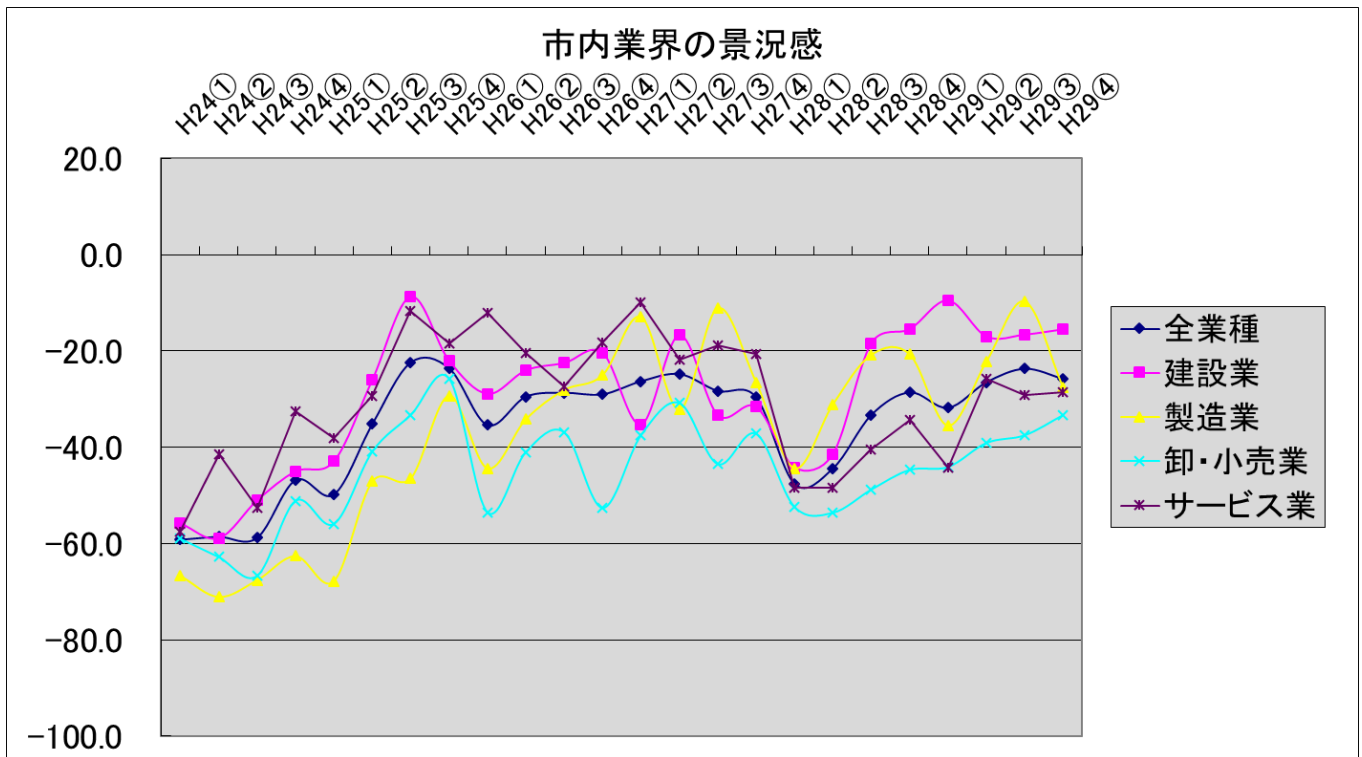
図表 1 - 2 【全業種DI値の推移（平成 21 年～）】



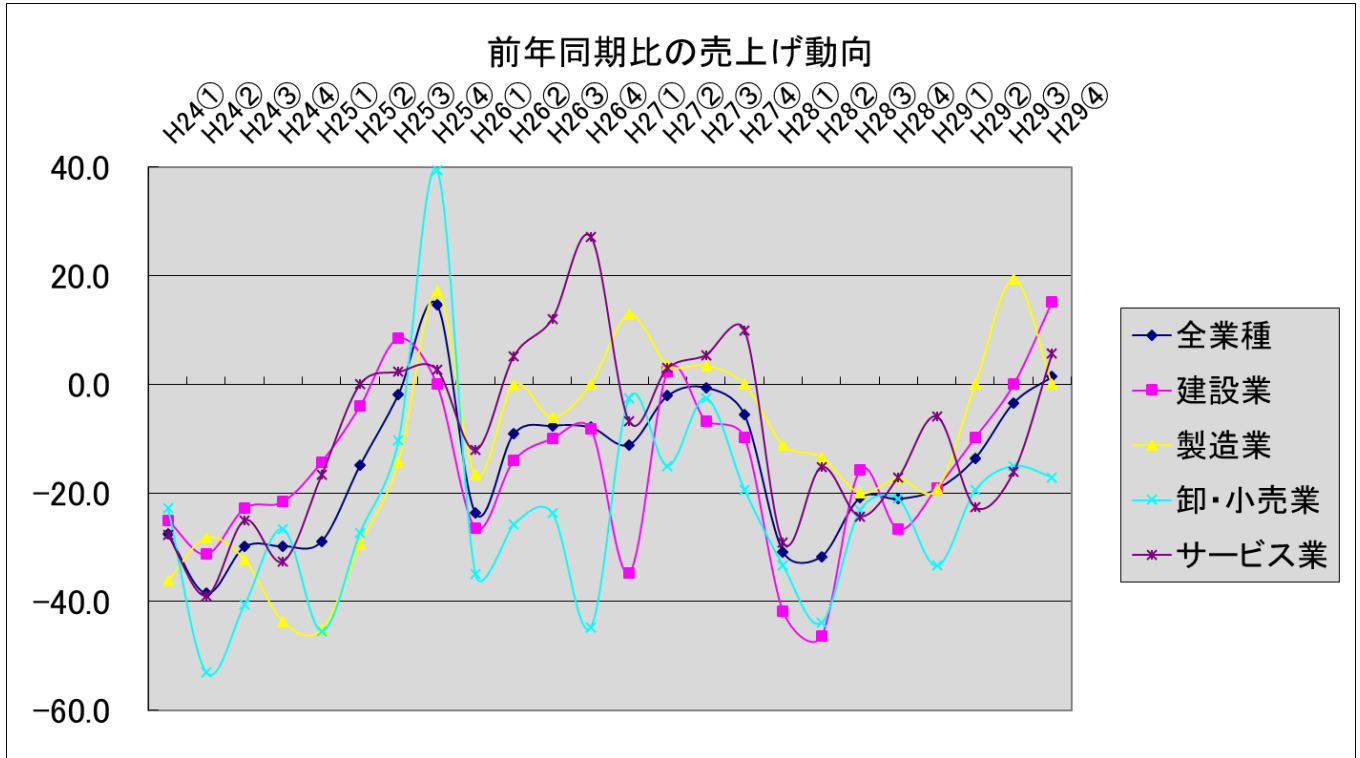
図表 1 - 3 【佐世保の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 4 【市内業界の景況感の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 5 【昨年同期比の売上動向の推移（平成 24 年～）】



図表 1 - 6 【昨年同期比の採算動向の推移（平成 24 年～）】

